



第2話 仕事をタシノーセよ



おくざき たびと



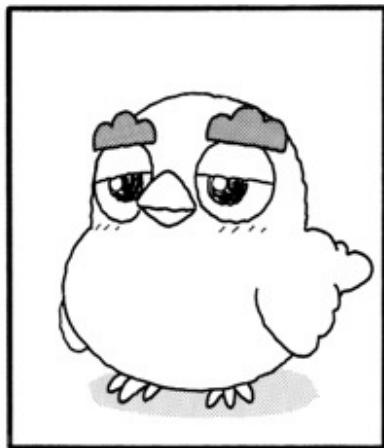


第2話 仕事をタソノ一せよ



おくざきたびと

## 登場人物紹介



大福  
(十姉妹・1歳)

見てのとおり(?)十姉妹の男の子。  
彼の美しさは、見るものすべての心を奪い、この世のすべての生命体が彼に恋する(本人談)。  
まさにフィンチ界、いや宇宙のアイドルである(自称)。

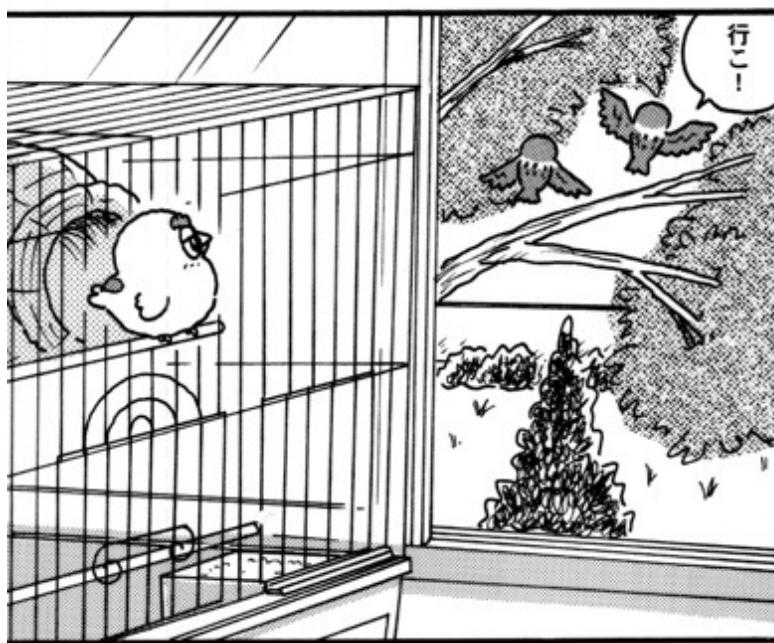
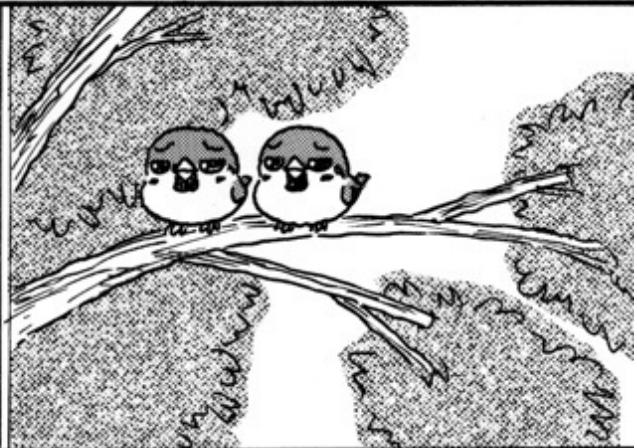
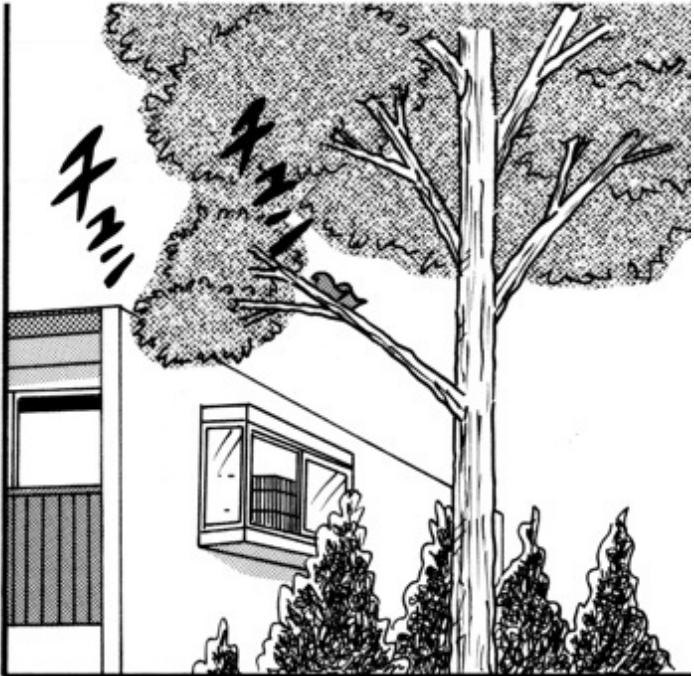
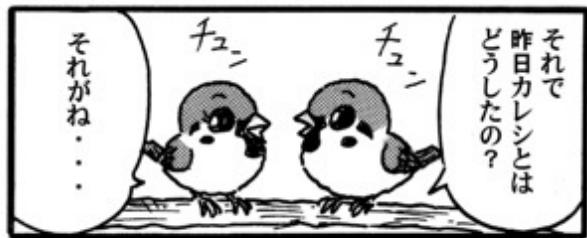


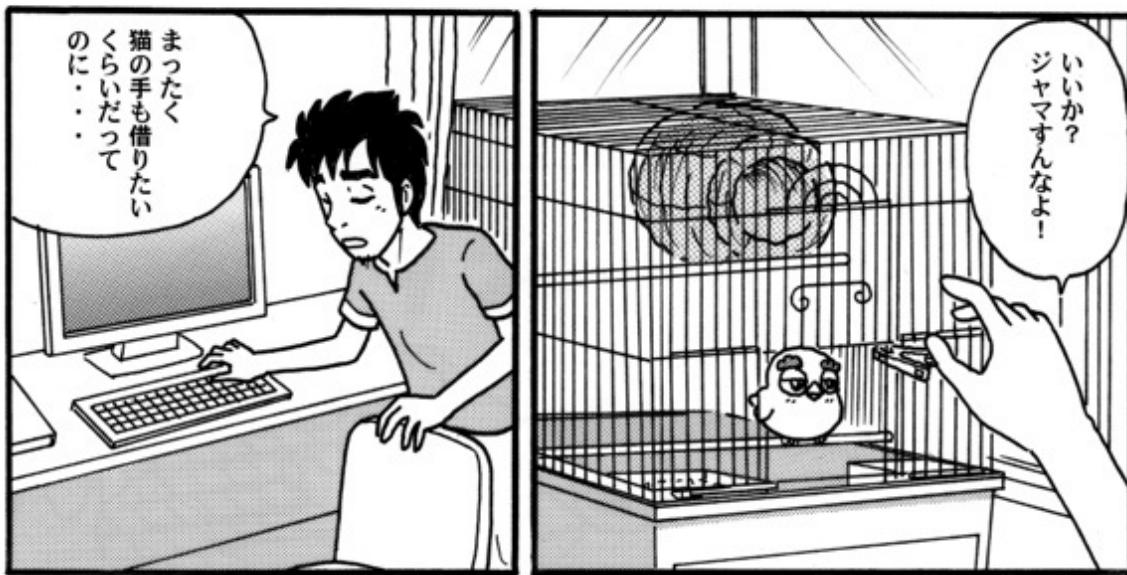
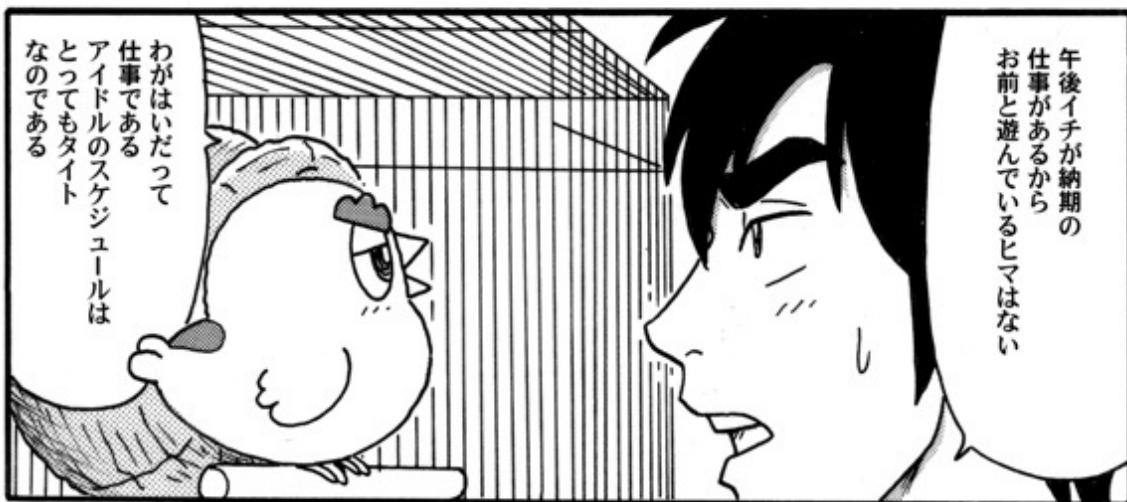
ぶったいX  
(丸井 大吾・27歳)

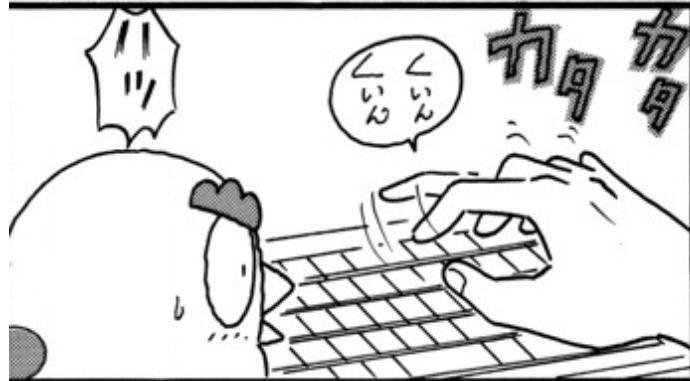
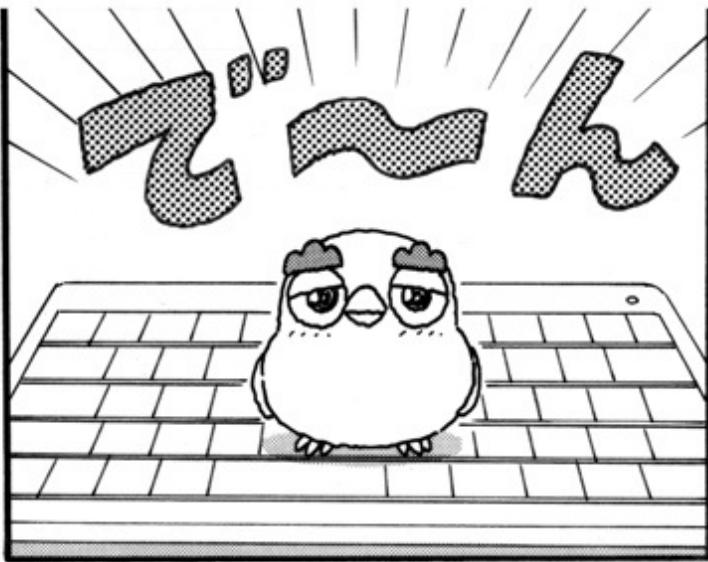
大福の飼い主。  
なぜか、大福の話す言葉が理解できる。  
大福からは「ぶったいX」と呼ばれている。  
WEBデザインオフィス「Finch's House」を経営。

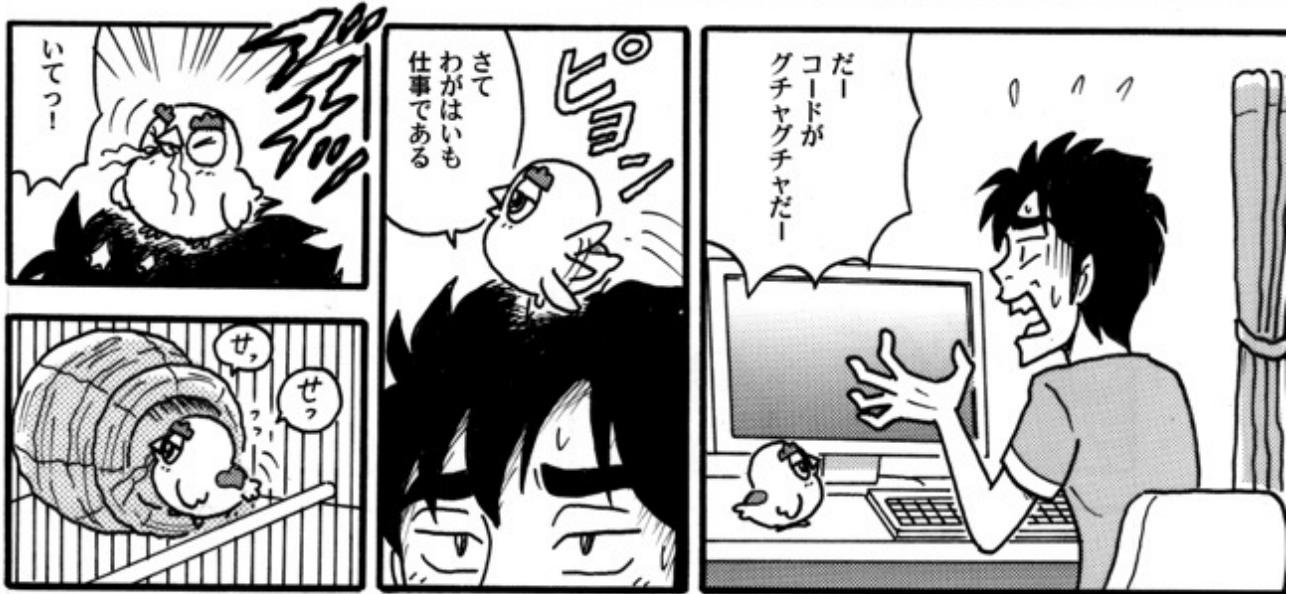
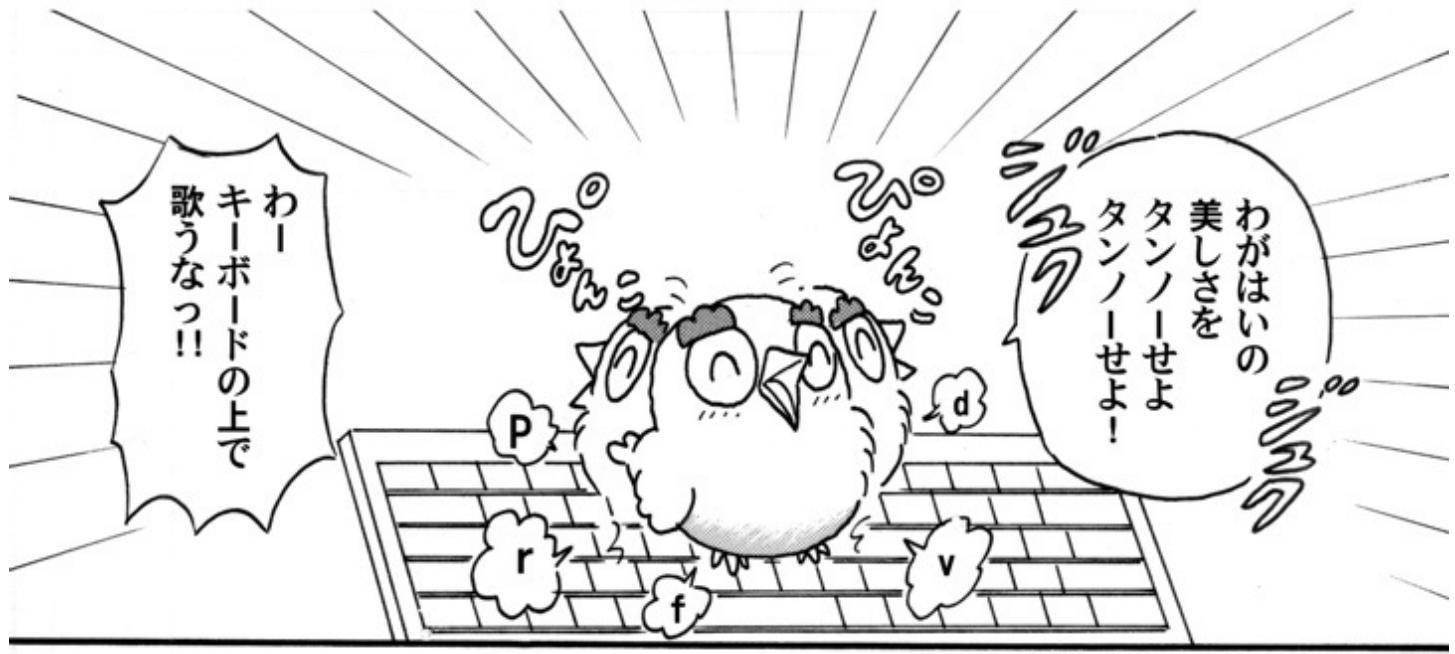


だいふく  
いでもん











これで  
あるっ!!



わがはいを  
捕まえようなぞ  
百年早いわ!!



わがはいは  
美しいっ!

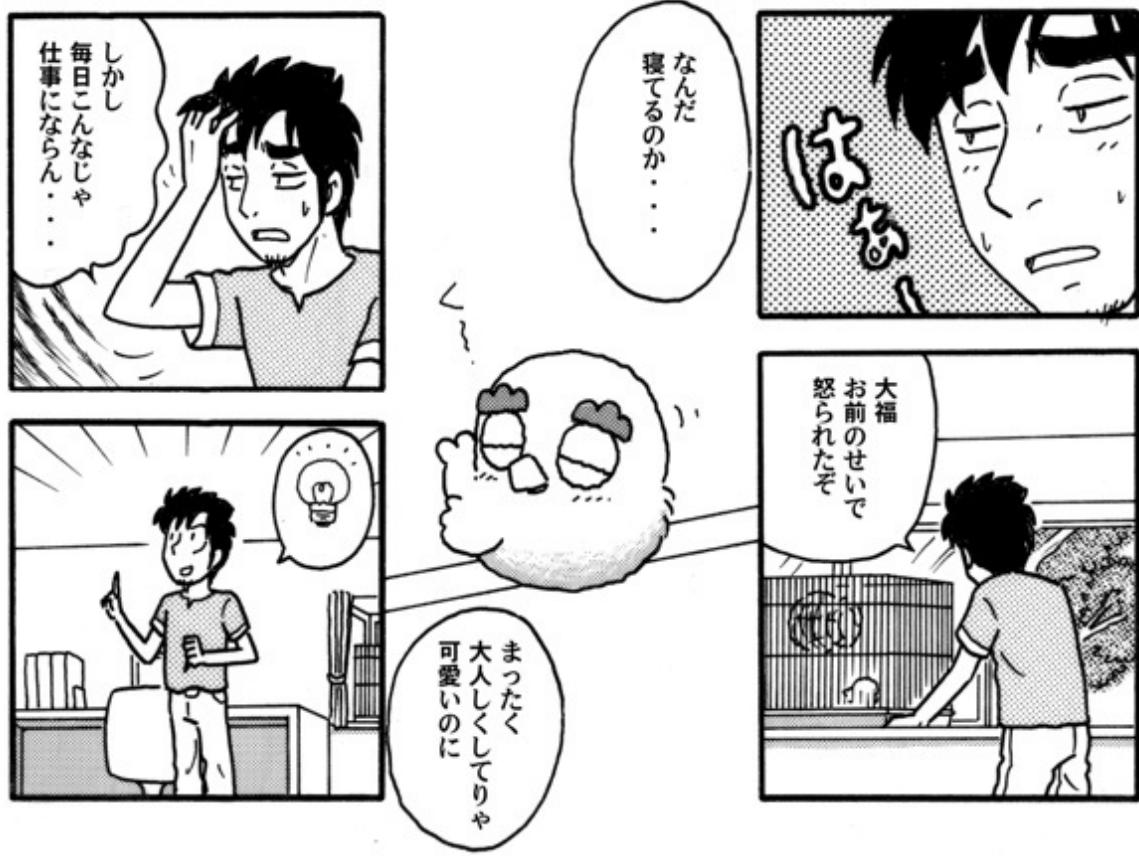


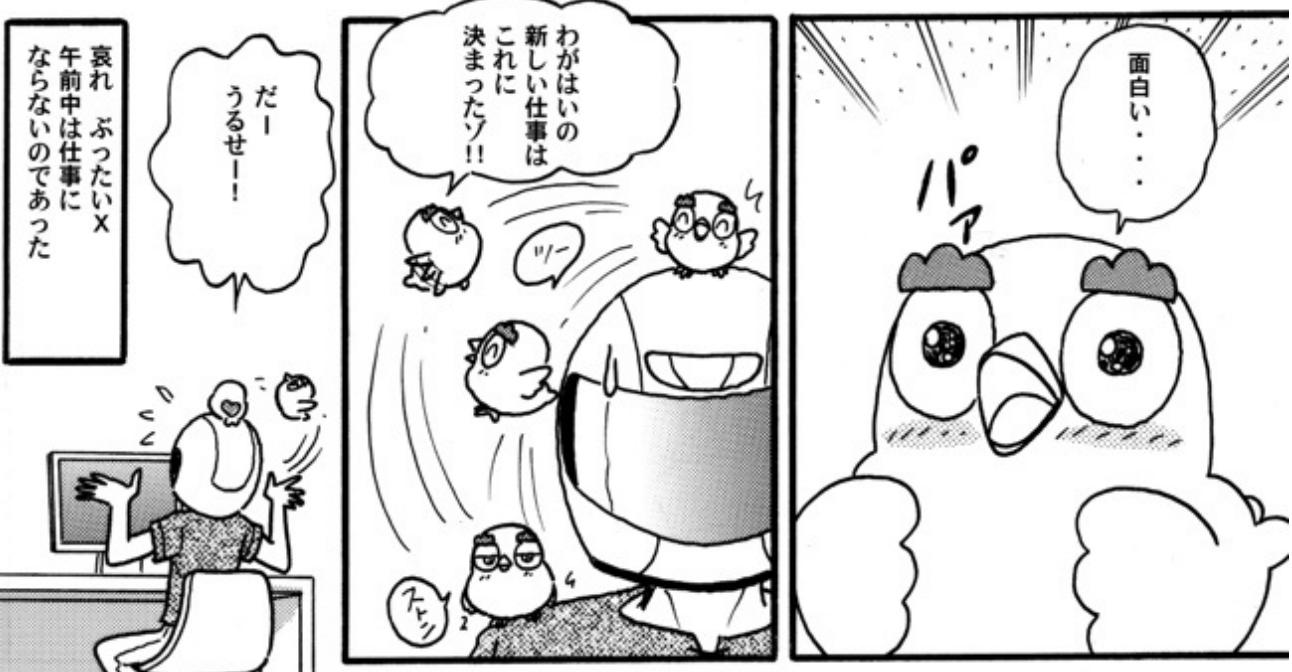
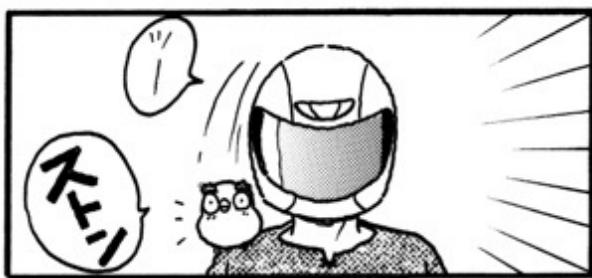
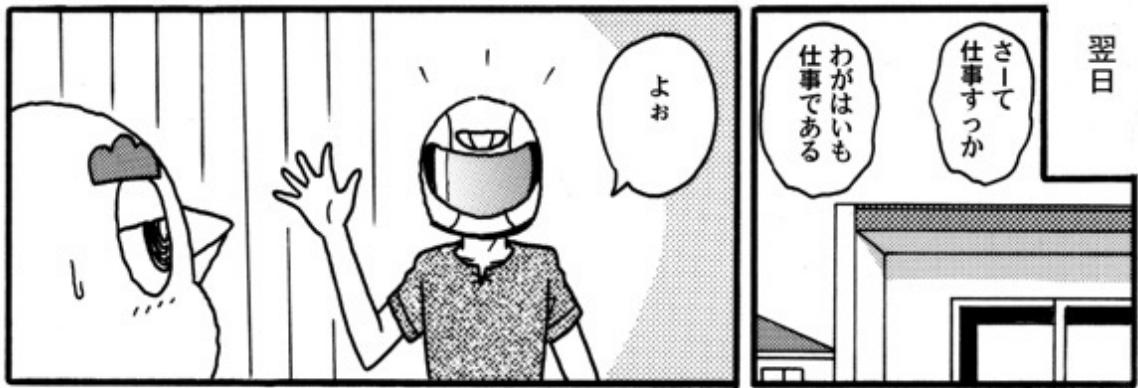
む  
無念である



いつ!?







第2話 おしまい

# オツケのページ

東京に出てきて驚いたコト。

それは、「都心のスズメが人懐っこい」コトだった。

青森などのスズメは、米などを食べる害鳥という事で追い掛け回されるせいか、とても警戒心が強い。

ところが都心のスズメ。都心の公園でパンなど食べていると、スズメが足元に近づいてきて、「ちょーだい」と言う目で見つめてくる。

パンをあげると、足元や座っているベンチの隣で食べてくれる。

間近でスズメと触れ合えるのは、鳥好きにたまらない状態である。

ところが、そこまで人懐っこい都心のスズメも手は怖いのか、残念ながら手から食べることはない。

しかし以前、上野の不忍池で見かけた「エサやりおじさん」は凄かった。

いつもスズメにエサをあげているのか、おじさんが現れるとスズメが集まってきた。

おじさんがパンくずが入った袋を取り出すと、スズメたちはパニック！

おじさんの肩や手に止まり、おじさんの体は、たちまち

「鈴なりのスズメ」状態に！

鳥好きからすると、なんとも羨ましい光景であった。



作者は、このブサイクなキャラクターをやめて、もっと可愛いキャラクターに変更するべきだ。十姉妹の人気が出て、月に1万羽売れるくらいブレイクするような・・・うん、それがいい！じゃあ、頼んだよ!!

責任取ってくれるのか？

私は、このようなブサイクなキャラクターを生み出した作者の真意を問い合わせたい。大福とかいうブサイクなキャラクターのせいで、十姉妹の人気が落ちて店の十姉妹が売れ残つたら、どうしてくれるんだ！

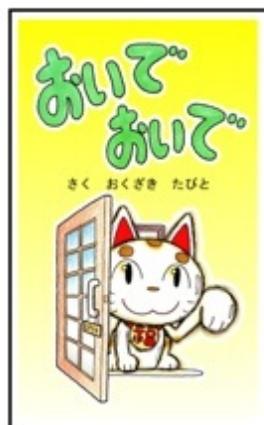


千葉県・匿名希望  
(ペツトショップ経営・49歳)



※おふざけのページです

絵本(電子書籍)発売中です



「おいで おいで」

- Puboo版：¥50
- Amazon Kindle版：¥99



「かばんのおばけ」

- Amazon Kindle版：¥99

\* Amazon Kindle版は、Amazon Kindleストアにて発売中です。

### いつでも大福 第2話

著者:おくざき たびと

2015年06月12日 初版

おくざき たびと のHP  
(じゃいごあいらんど)

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~jyaigoisland/index.html>

C 2015 Tabito Okuzaki All rights reserved.